

印本比古神
の下に註
字を加へ
るは誤り
也、今兼
も、今兼
廟本に據
る出處本
同し、
印本高字
に本高字
を脱す古
本に據る

天水沼間比古神。天水塞比賣神社二座

天水沼間は阿米乃美奴麻、天水塞は阿米乃美勢幾と訓べし、比古比賣は假字也、○祭神明か也、○祭神明か也○在所詳ならず

秘羽目神高足濱目門比賣神社二座

秘羽目は假字也、自ら自の誤にて、日鷲神、高足濱目門は多加之乃波末女止と訓べし、和名鈔、部名名西郡高足之加、比賣は假字也、○祭神明か也○在所詳ならず

名方郡九座 大一座小八座

名方は奈加多と訓べし、和名鈔、部名式廿二、部名民部名東名西、拾芥抄、部名名方、部名府名東名西、式頭書云、寛平八年九月五日、分名方郡、爲名東西郡、○類聚三代格、昌泰元年七月十七日、太政官符、應省名東郡主帳一員、置名西郡事、右得阿波國解、名西郡司解備、名東名西二箇郡元爲一郡之時置二件職二員、而依太政官去寛平八年九月五日符旨、分爲二郡、七箇郷爲名東郡、四箇郷爲名西郡、而未置此職、已違令條、望請官裁省彼一人、爲二此郡員者、國加覆覈所申有道理、謹請官裁者、大納言正三位兼行左近衛大將藤原朝臣時平宣、奉勅依請、

天石門別八倉比賣神社 大月次新嘗

天石門別は阿米乃伊波止和氣、八倉は也久良と訓べし、比賣は假字也、○祭神明か也○在所詳ならず、或云、天野村ニアリ、郡東四の風な、いす、當國神社帳、名東郡佐那河内村天野月別社、

神位

續日本後紀、承和八年八月戊午、奉授阿波國正八位上天石門和氣八倉比咩神從五位下、三代實錄、貞觀七年二月廿七日己卯、授阿波國正五位下天石門和氣八倉比咩神從四位下、同十三年二月廿六日壬寅、授阿波國從四位下天石門和氣八倉比咩神從四位上、同十六年三月十四日癸酉、授阿波國從四位上天石門和氣八倉比咩神正四位下、元慶三年六月二十三日壬午、授阿波國正四位下天石門別八倉比咩神正四位上、長寬勘文、天慶三年二月一日丁酉、阿波國天石門和氣八倉比賣社正三位、

天石門別豐玉比賣神社

天石門別は前に同じ、豐玉は登與多麻と訓べし、比賣は假字也、○祭神明か也○在所詳ならず、當國神社帳、名東郡佐那河内村天野月別社、云り、前なる八倉比賣社も同じく見ゆ如何、比保古云、天明玉命也、櫛明玉天明玉豐玉比賣神者、同神異名而作玉神也、奥田吉從云、神代上一書、天照大神磐戸隱ノコトヲ傳ヘタル中ニ、玉作部遠祖豐玉者造玉トアリ、此神ヲ祭レルナルベシ、石門アケ給ヘル時ノ物ヲ作レル神ナレバ、石門別ト云ベシ、遺風按るに、日本紀神代卷上、寶鏡明一書に、玉作部遠祖豐玉者造玉、また一書に、眞坂木の中枝には懸玉作遠祖伊弉諾尊見天明玉、所作八坂瓊之曲玉云云、とあるより考へ出たる、爲起宿禰吉從等の説なれど、打任せても隨ひがたくやあらん、

麻能等比古神社

八の字悉くは六の誤り歟